

CITY OF YOKOHAMA

脱炭素・GREEN×EXPO推進・
みどり環境・資源循環委員会
令和 7 年 9 月 1 8 日
脱炭素・GREEN×EXPO推進局

GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた 取組状況について



横浜市

項目

- 1 機運醸成の取組等について
- 2 会場計画の検討状況等について

項目

- 1 機運醸成の取組等について
- 2 会場計画の検討状況等について

1 (1) 「Blooming RING Action」の展開

5月16日に発表された「Blooming RING Action」について、「Blooming Ring」の区役所を通じた地域関係者への配布や、市内の大規模イベント等における配布、SNS等での発信により、市内全域で応援の輪を広げる取組を実施しています。



Blooming Ring Action参加者



地域の取組

1 (2)公式ライセンス商品の展開

GREEN×EXPO 2027のオフィシャルストアとして3店舗目となる「EXPO 2027オフィシャルストア 丸善 横浜みなとみらい店」が8月7日にオープンしました。

また、8月20日に「EXPO 2027オフィシャルオンラインストア」がオープンし、公式ライセンス商品が日本全国で購入可能になりました。

順次新商品を投入し、認知拡大を図っていきます。



丸善 みなとみらい店の様子



(左)ぬいぐるみキーホルダー (右)クッション

1 (3) 特別仕様ナンバープレートの展開

7月14日に市庁舎にて、GREEN×EXPO 2027 特別仕様ナンバープレート交付記念セレモニーを開催しました。区役所等に配備されている次世代自動車等（EV、PHV、FCV、HV）をはじめとする公用車について、順次取り付けを実施しています。

また、横浜市で初となるご当地ナンバープレートとして、GREEN×EXPO仕様の原動機付自転車のナンバープレートの導入も検討しています。



7/14 交付記念セレモニーの様子



資源循環局 瀬谷事務所

1 (4) 大規模イベント等におけるPR

7月に「横浜七夕祭り」や「サマーコンファレンス」のイベントブースをはじめ、みなとみらい地区において熱気球搭乗会が実施され、来場者の皆さまに対して新たな手法でGREEN×EXPOのPRを実施しました。

また、8月には「TICAD9（第9回アフリカ開発会議）」において、国内外の皆様には横浜で万博が開催されることをPRし、GREEN×EXPOの公式マスコットキャラクター「トゥンクトウンク」が登場しました。



気球への広告掲出の様子



(左) 公式マスコットキャラクター「トゥンクトウンク」

1 (5) 大阪・関西万博と連携したGREEN×EXPO 2027のP R

大阪・関西万博の会場において、「次の万博は、横浜で」をキャッチフレーズに、GREEN×EXPOのポスターや動画、トゥンクトゥンクを活用したプロモーションを行っているほか、ギャラリーEASTにおいて、農林水産省・国土交通省と協会が連携し、GREEN×EXPO の紹介や日本を代表する花き文化であるいけばな、盆栽等の作品展示を行います。

■主なP R展示

- ・東ゲート広場近くに、トゥンクトゥンクのモニュメント設置（8月下旬～）
- ・EXPOアリーナのスクリーンにおいて、1日数回程度P R動画を放映（日英二か国語）
- ・万博会場に隣接する冷蔵倉庫の壁面を使った、プロジェクションマッピングに参加



会場内に設置されたトゥンクトゥンク

■主なイベント連携

- ・9月23日～27日、「ギャラリーEAST」において、国土交通省・農林水産省と協会が連携し、GREEN×EXPO 2027の紹介や日本を代表する花き文化であるいけばな、盆栽等の作品を展示



壁面を使ったプロジェクションマッピング

1 (6) 開催500日前における取組

大阪・関西万博の閉幕後は、その盛り上がりの機運を逃さず、GREEN×EXPOの機運醸成につなげるため、開催500日前となる11月4日の前後に、記者発表会や市内・首都圏への集中的なプロモーションを展開します。

さらに、11月中旬に大学生をメインターゲットとした、シンポジウムを実施します。



開催2年前記者発表会の様子



開催2年前のシティドレッシングの様子@馬車道駅

項目

- 1 機運醸成の取組等について
- 2 会場計画の検討状況等について

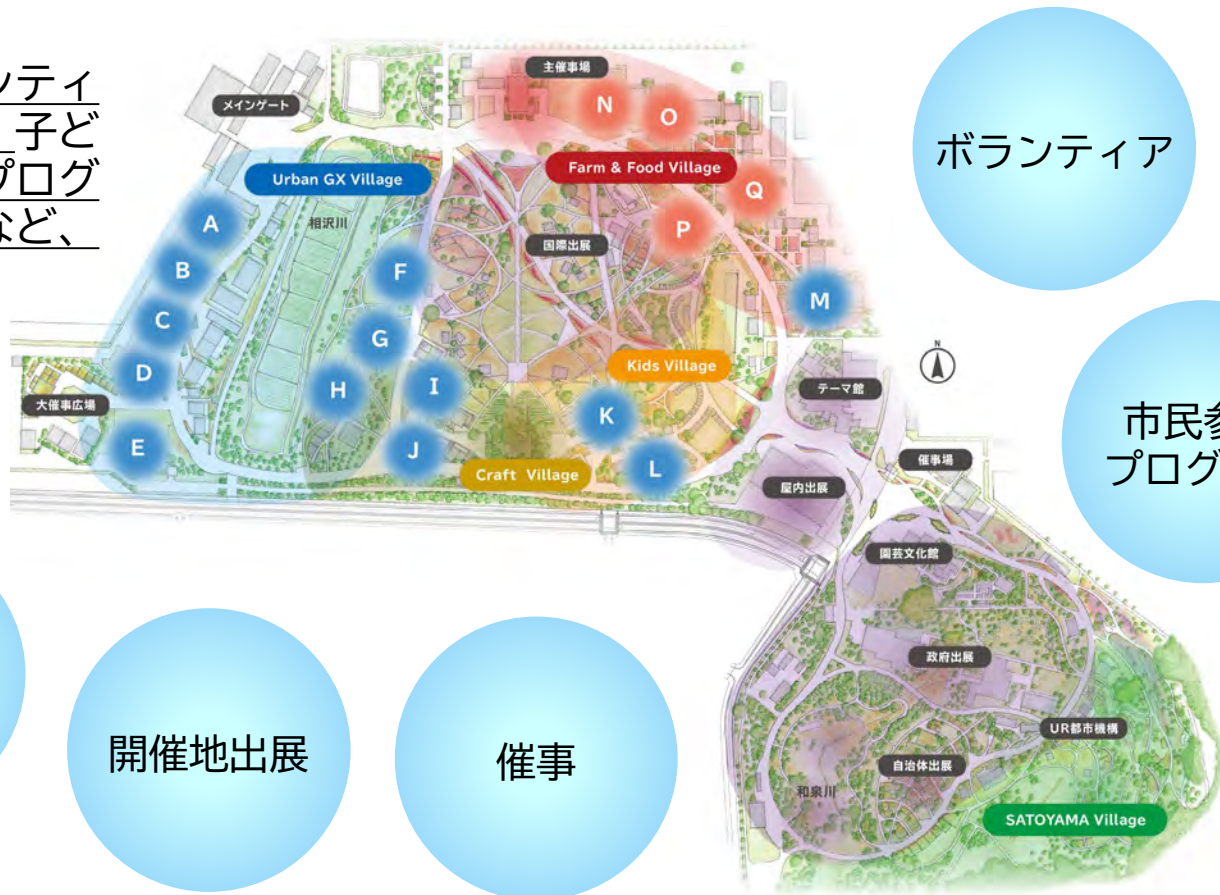
2(1) 出展状況

GREEN×EXPO 2027の会場空間を共創するパートナーは、「Village出展」、「花・緑出展」、「テーマ営業出店」をあわせて377件となり、多くの出展者の皆様と一緒に魅力あふれる会場空間を準備しています。



2(2) 本市の関わり

本市においては、ボランティアや市民参加プログラム、子どもたちを対象とした教育プログラム、開催地出展、催事など、それぞれ具体的な検討を進めています。



教育
プログラム

開催地出展

催事

ボランティア

市民参加
プログラム

2(3) 開催地出展 ア 候補位置

① 建物空間を活用した発信拠点

Urban GX Village

Farm & Food Village

Kids Village

Craft Village

SATOYAMA Village

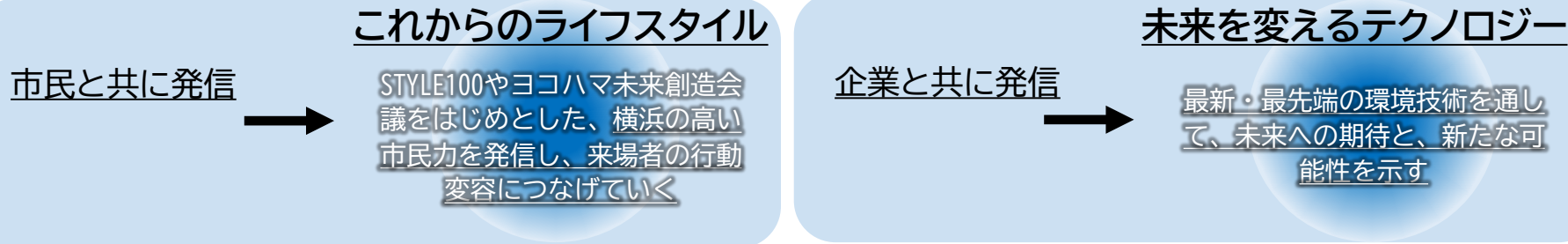
② フィールドを活用した活動拠点



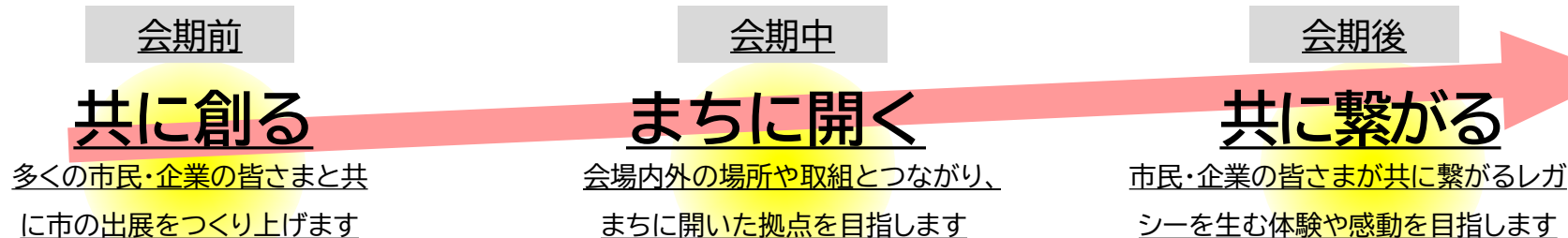
2(3) 開催地出展

イ 発信拠点の考え方

未来に向けて、挑戦する市民・企業の皆さまと共に拠点から世界に向けて発信します

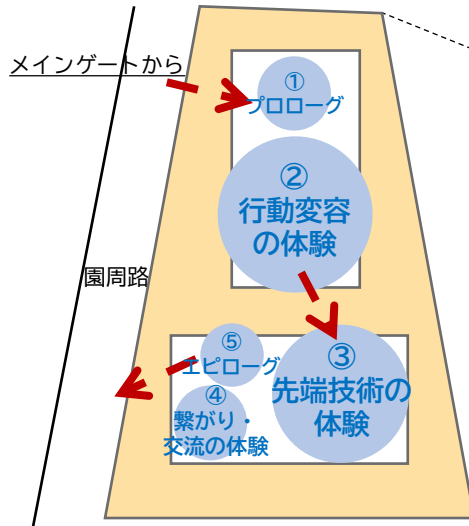


会期前後や会場外でも市民・企業の皆さまとの関わりをつくり、
横浜らしい特別な出展を目指します



2(3) 開催地出展 ウ 発信拠点の全体像

区画内レイアウトのイメージ図



会場図抜粋



① プロローグ

横浜ならではの新しい未来の姿を示す



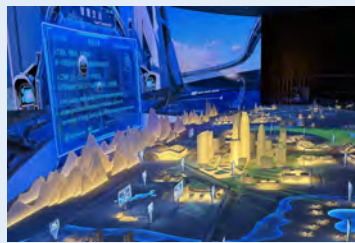
② 行動変容の体験

横浜の市民や企業の皆さまが実践する
新たなライフスタイルを体験し、持ちかえる



③ 先端技術の体験

先端技術と市民力の
掛け算による未来の体験



④ 繋がり・交流の体験

市民・企業の皆さまの熱量を発信
(活動スペース)



⑤ エピローグ

新しい循環をつくる
未来への参加の呼びかけ



2(4) 各国の参加表明状況

「TICAD9」において、総理大臣・横浜市長共催歓迎レセプション、セミナー等でのPRに加え、招請活動、現地視察を実施しました。また、期間中に4か国と公式参加契約の調印が行われました。

9月16日時点で約60の国・国際機関から参加表明をいただいております、契約調印国数は7か国となっています。



TICAD9に出席中のアフリカ参加表明国の代表者等



調印式（モザンビーク共和国）



ケニア共和国現地視察